

防草シート 構造物処理のポイント

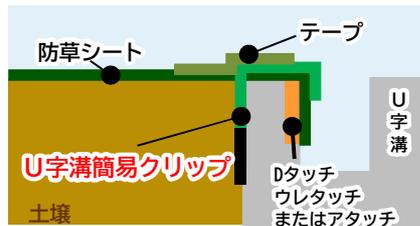
株式会社白崎コーポレーション

防草シートの効果を最大限発揮させるには、構造物処理も重要なポイントです。
各種副資材をご用意しておりますので、現場状況に応じてご利用ください。
QRコードを読み込むと、詳しい施工動画をご覧いただくことができますので、是非ご活用ください。

【U字溝際の処理】 U字溝簡易クリップ 180型・300型・450型



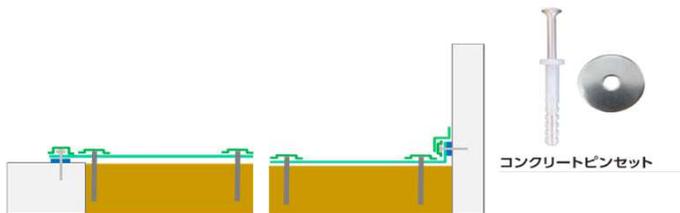
1. 接着不良を防ぐため、U字溝の側面の汚れをワイヤーブラシ等を用いて清掃する
2. 防草シートをU字溝に6cm～8cm程度被せ、折り曲げて接着する(Dタッチ/ウレタッチ/アタッチ)
3. U字溝の仕様によってU字溝簡易クリップの規格を選択する(180型・300型・450型)
4. U字溝と地面の境目にU字溝簡易クリップを打設する(50cm間隔)
5. 打ち込んだ穴からの雑草防止のため、テープを貼り付ける



【コンクリート】

(注意)コンクリートピンセットを用いる場合は、ハンマードリルにて下穴が必要です。(φ5×深さ40mm以上)

1. 接着不良を防ぐため、コンクリート部の汚れをワイヤーブラシ等を用いて清掃する
2. 防草シートをコンクリートに10cm以上重ね、ハンマードリルで下穴をあける
3. 下穴をあけた穴にコンクリートピンセットを添え、ハンマーで打設して固定する(50cm間隔)
4. Dタッチ/アタッチ/ウレタッチのいずれかを用いてシートとコンクリートを接着する
5. 必要に応じてシート端部にテープを貼り付ける

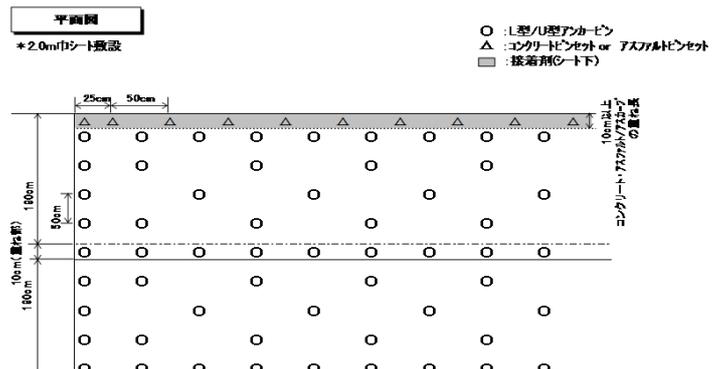
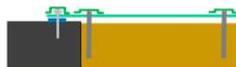


【アスファルト・アスカーブ】

1. 接着不良を防ぐため、アスファルト部の汚れをワイヤーブラシ等を用いて清掃する
2. 防草シートをアスファルトに10cm以上重ねる
3. アスファルトピンセットをハンマーで打設して固定する(50cm間隔)
4. Dタッチ/アタッチ/ウレタッチのいずれかを用いてシートとアスファルトを接着する
5. 必要に応じてシート端部にテープを貼り付ける



アスファルトピンセット



防草シート 構造物処理のポイント

株式会社白崎コーポレーション

防草シートの効果を最大限発揮させるには、構造物処理も重要なポイントです。
各種副資材をご用意しておりますので、現場状況に応じてご利用ください。
QRコードを読み込むと、詳しい施工動画をご覧いただくことができますので、是非ご活用ください。

【コンクリート基礎ブロック処理】



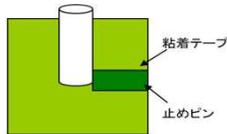
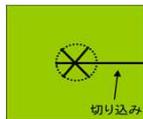
1. 接着不良を防ぐため、構造物の汚れをワイヤーブラシ等を用いて清掃する
2. 防草シートをハサミやカッターで切り込み加工する
3. カットしたシートも使い、立ち上げ部とシート同士の重ね部はそれぞれ10cm以上確保する
4. シートと構造物及びシート同士の重ね部を接着する(Dタッチ/アタッチ/ウレタッチ)
5. テープを貼り付けて隙間を確実に塞ぐ



【支柱周り処理】 ガードレール 転落防止柵 電柱 など

(事前準備) 支柱周りに防草シート敷設

1. 構造物やシート同士の重ねは10cm以上になるよう考慮し、支柱部分をハサミやカッターで切り込む
2. 切り込み部はピンで固定し、テープを貼り付ける(切り込んだ隙間が大きい場合はカットしたシートを下に入れる)
3. 防草ラバーコート/ガードレール支柱カバー/テープのいずれかを用い、支柱周りの処理を行う



防草ラバーコート

ラバーチップ、接着剤GU2-4L



ガードレール支柱カバー

φ60.5、φ114、φ140 の3種類



テープ

チガヤシートの場合:チガヤテープ
GUシートの場合:GUテープ
その他のシートの場合:粘着テープ

